

I 令和8年度事業計画（案）

（ 自 令和8年4月1日 ）
（ 至 令和9年3月31日 ）

1. 基本方針

名目GDPが600兆円を突破し、賃金も2年連続で5%超の伸びを示すなど、我が国経済は長らく続いたデフレ局面を脱し、成長型経済への転換期を迎えている。

成長と分配の好循環の実現が期待される一方で、中小企業を取り巻く経営環境は依然として厳しく、円安・物価高の継続に加えて金利の上昇、深刻な人手不足と労務費の急増が継続する中であって、価格転嫁の動きは広がりつつあるものの、なお十分な水準には至っておらず、さらには不安定な国際情勢に起因する調達・供給不安や不確実性の増大など、将来の予測が困難を極める、かつてないほど厳しい舵取りを強いられている。

こうした中、広島県中央会として効果的な支援を展開するためには、中小企業が抱える課題に正面から向き合うことが不可欠である。そのうえで、新たな組織化や組合経営の合理化を通じた支援に加え、それらを下支えする中央会の業務執行基盤を一層強化していく必要がある。

これらの環境変化に的確に対応すべく、これまで実施してきた諸活動を更に発展させるとともに、新たに策定した「広島県中央会ビジョン2026」の「具体戦略」に掲げる3つの柱に基づき、着実な成果達成に向けた事業・活動を展開していく。

2. 具体戦略

（1）組合・連携組織及び中小・小規模企業の経営力の強化

ア. 組合等の設立支援と組織化の推進

- ① 組合制度の普及と連携・組織化ニーズの掘り起こし
・ 特定地域づくり事業協同組合制度等の活用促進
- ② 経営課題に応じた組合等の設立支援と多様な連携・組織化の推進

イ. 組合等の持続可能な経営基盤の強化と成長支援

- ① 組合等の事業継続と成長支援
・ デジタル化・先端技術の活用による経営高度化支援
（DX・AI活用、組織運営・管理のデジタル対応、生産性向上等）
・ 社会変革・環境対応を踏まえた事業革新の推進
（事業再構築、GX・カーボンニュートラル、働き方改革への対応）
・ 事業継続力・リスクマネジメントの強化
（BCP、連携事業継続力強化計画、災害等の様々なリスクへの対応）

- ・組合等を通じた人材確保・育成支援
(人材確保、外国人材制度の適正運用・育成就労制度移行対応等)
- ・事業承継の案件発掘と取組支援
- ・制度改正等、その他の組合員の共通課題への対応支援
(取適法、税制・インボイス対応等を含む各種課題解決)

② 組合組織と事務局機能の強化

- ・組合制度に則った運営の推進
- ・組合等を担う人材確保・育成支援事業の推進
- ・次世代組合リーダーの確保、育成
- ・組合青年部の活性化、創設支援

③ 関係協力団体及び連携組織の活性化・活動支援

- ・青年中央会、事務局代表者協議会、組合士会、外国人技能実習生受入協議会の活性化

ウ. 中央会ネットワークを活かした多様な連携促進とコーディネート機能の発揮

① 課題、目的別連携組成の推進と地域／業種を超えた新たな交流機会の創出

- ・「ものづくり連携倶楽部ひろしま」における卓越事例紹介、連携・交流の支援
- ・巡回訪問等を通じたビジネスチャンスの創出と交流支援

② 行政、関係機関等とのアライアンスによる重点課題の効果的な解決支援

- ・ものづくり・商業・サービス生産性向上促進補助金事業
- ・中小企業省力化投資補助事業
- ・新事業進出・ものづくり商業サービス補助事業（新ものづくり補助金）【新】
- ・中小・小規模事業者等の計画的経営改善応援補助金【新】
- ・中小企業等協同組合等の定款変更の認可に係る事前審査等業務【新】

エ. 経営課題に応じた最適支援

① 組合員企業等の相談対応・サポート体制の強化

- ・先端設備導入計画、経営革新計画、経営力向上計画等の事業計画策定・実行支援
- ・認定支援機関としての機能発揮

(2) 組合ニーズ把握の徹底と情報提供・提言活動の展開

ア. 組合等の実情、ニーズ把握とフォローアップの徹底

① 対話と支援のサイクルによる関係性の強化

- ・巡回訪問、ヒアリング等の充実・強化と的確なニーズ把握

イ. 情報収集・提供機能の強化と提案・要望活動の充実

① 組合等を通じた調査、意見集約と情報提供・発信機能の強化

- ・会員組合等とのコミュニケーション、接点を増やすデジタルツールの整備

- ・ 情報提供・発信コンテンツの充実
- ② 行政、関係機関等への提案・要望活動の充実
- ・ 国・県等への中小企業対策等についての陳情・要望の充実

(3) 中央会の支援機能強化と事務局組織の活性化

ア. 中央会業務の高度化と再現性の向上

- ① SLO 設定とプロセスの統一、標準化
 - ・ 支援品質均一化を実現する業務プロセスの整備
- ② AI、デジタル技術やデータ等の活用による品質向上と効率化推進
 - ・ 業務の品質向上と効率化に向けた電子化、システム化及びツールの整備（小規模事業者等支援体制強化事業【新】）

イ. ナレッジマネジメントと組織内展開

- ① 組織的な支援方針整理と実行モニタリング
- ② 重点支援分野の支援情報の集約・パッケージ化と共有・活用

ウ. 職員の能力発揮と成長を促す組織づくり

- ① 職能に応じた業務分担と、ステップアップを促す役割設定・計画的なジョブローテーション
- ② 学習と実践機会の提供支援による自律的なレベルアップと挑戦のサポート

エ. モチベーションを高める組織風土の醸成

- ① 組織共通の価値観・行動指針（クレド）の共有と実践
- ② 成果とプロセス・期待行動の公正な評価

オ. 広島商工会議所ビル取り壊しに伴う、基町再開発ビルへの中央会本所の移転準備

- ① 令和9年度の移転に向けた室内配置・ネットワーク構築等の検討・調整、保存文書の電子化等の実施

（注）【新】新規取組み